

# 「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol. 31

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

## 低温低湿乾燥法による魚介乾製品「潮騒の一夜干し」が発売されました

6月27日、岩手大学と久慈市の水産加工販売会社「北三陸天然市場」との共同研究で誕生した高品質な魚介乾製品「潮騒の一夜干し」の販売が開始されました。

潮騒の一夜干し(魚種：ホッケ・カレイ・サンマ・サケ・サバ)は、岩手大学と相互友好協定を締結している久慈市から派遣されている共同研究員が、地元企業である(有)北三陸天然市場に三陸水産研究センター長の三浦靖教授を紹介したことがきっかけで誕生した製品です。震災後に、主力商品である干物の高度化を目指したいとのご相談をお寄せいただき、三浦靖教授の「低温低湿乾燥法」の技術を商品に応用する研究が開始されました。

また、設備導入の段階で「いわて産学連携推進協議会(リエゾン-1)」、「公益財団法人さんりく基金」、「岩手県沿岸広域振興局」等の助成支援をいただくとともに、

パッケージデザインや販売戦略については、県内企業の製品をプロデュースしている盛岡市の(株)パイロットフィッシュの指導を得て、産学官が協力したオール岩手の製品となりました。

従来の干物づく



西谷泰昭理事・副学長、三浦靖教授、小笠原ひとみ(有)北三陸天然市場代表取締役社長、五日市知香(株)パイロットフィッシュ代表取締役、中居正剛久慈市副市長(左から)

りで見られた、天日乾燥による脂質の酸化に伴う魚の生臭さの発生や高塩分濃度等の課題を、乾燥前の浸漬液にローズマリー抽出成分を加えることで脂質の酸化を抑制し、専用の乾燥設備により低温下で段階的に湿度を下げる「低温低湿乾燥法」を用いることで高塩分だけでなく消費期限を延ばすことに成功しました。

6月26日に行われた発売記念記者会見では、西谷泰昭岩手大学理事・副学長が「水産業の復興なくして三陸復興はあり得ない。今回のような成功事例を他地域とも一緒に重ねていながら復興支援活動を進めていきたい」とコメントしました。

「潮騒の一夜干し」は、北三陸天然市場(ネットショップ：<http://3ri9.shop-pro.jp/>)のほか、岩手県内のイオン系列店等で販売中です。干物の生臭さや塩分が気になっていた方も是非ご賞味ください。

岩手大学は、今後も「水産業の復興」や「なりわいの復興」を目指した支援活動に取り組んでまいります。



潮騒の一夜干し

## 水産加工業車座研究会 in 大船渡を開催しました

6月28日、大船渡市魚市場を会場に、岩手大学・東京海洋大学・北里大学の3大学共催で「水産加工業車座研究会 in 大船渡」を開催しました。

車座研究会は、3大学の研究事例を、水産加工業者、漁業関係者、流通販売業者の方々に紹介するとともに、車座形式での意見交換を通じて、水産関係者が現在抱えている諸課題を再確認し、大学と連携して震災復興や課題解決に向けた新事業の展開につなげるための技術力の育成を図ることを目的に開催しているものです。車座研究会はこれまでに釜石、宮古、久慈地域で開催していますが、気仙地区では初の開催となりました。

車座研究会は、3大学の研究者によるミニ講演の後、参加者は「商品開発・食普及」、「ブランド化」、「水産物の有する機能性」、「加工工程改善、生産拡大」の4つのテーマに分かれて車座形式での意見交換会を行いました。

意見交換会では、3大学の研究者がそれぞれのテーマのアドバイザーを務め、震災復興に向けた新事業の展開に関する課題等について参加者と共に考え、参加者の質問に対して専門的見地からアドバイスをを行いました。

参加者からは、「新商品開発、未利用資源の新たな活用方法、工程管理など多様な研究事例を伺うことができ、密度の濃い研究会だった」、

「専門家から科学的な意見を聞くことができ参考になった。商品展開に活かしたい」との声をいただき、大学の持つシーズをさらに震災復興の現場に活かしていくことが重要であると改めて認識した研究会となりました。

また、参加者からご相談いただいた案件については、大船渡エクステンションセンターが3大学の窓口となり、今後継続的に支援してまいります。



車座形式の意見交換会(テーマ：水産物の有する機能性)



# 岩手大学三陸復興プロジェクト

岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が一丸となって東日本大震災からの復興に取り組んでいます。今回は、陸前高田市で農耕回復実験に取り組んでいる農林畜産復興推進部門 農地復興班の活動の一例を紹介します。

## 陸前高田市竹駒の津波被害を受けた農地の復興

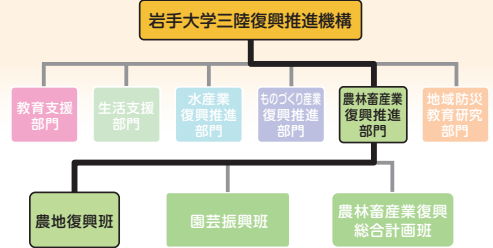
岩手大学三陸復興推進機構 農林畜産復興推進部門 農地復興班  
河合 成直（農学部 教授）

農林畜産復興推進部門 農地復興班では陸前高田市竹駒の津波被災農地における農耕回復実験を行っています。現在は、1.がれき除去 2.塩類の洗脱 3.客土、整地による農地整備の時期を過ぎました。2013年度は栽培農地再スタートの年でした。現在は、4.土づくりと農耕復活の時期です。しかし、陸前高田市ですべての農家が農業復帰できたわけではなく、あちこちに耕し手を失った農地もあります。そのような農地には雑草の侵入が始まっています。ひとたび雑草の種子が入るとその防除には10年かかるとも言われ、憂慮されます。また、農地整備が終わった土地には、硬盤層と呼ばれる下層に水を通さない層が形成されたことによる排水不良や、肥沃度や保肥力が低下した田畑が見られます。昨年度の米の収量が、震災前の半分程度という水田も多いとの情報があります。

その中で、農地復興班が取り組んでいる事例の一つが、キュウリ栽培です。



2013年度のキュウリ栽培の畑



陸前高田においてキュウリは安定的に現金収入が得られる作物で、すでに一昨年より、栽培試験を行い土壌分析と合わせて収量調査を行ってあります。現状では、農家の働き手が十分おられ、土壌条件が良いところで化学肥料を多肥すれば、震災前に近いレベルの収量が得られるところまで来ています。私達は、土壌肥沃度が低下した畑に対し、有機質肥料を施用、牧草の鋤きこみなどして化学肥料多肥ではない土づくりを重視する農家を農家の方に勧めています。現在、協力していただいている農家では、化学肥料型の方法と私達の有機質利用型の方法の両方を行っていただいております。土づくりの重要性と現金収入を両立させることが大切だと農家の方とお話して非常に感じます。

今後とも、有機質資材を用いた土づくり農法を農家の方にお勧めする活動を続けたいと考えています。また、季節外れのダイコン栽培など新たな現金収入を探る取り組みも今年から開始しました。アイデアが求められるのが今後の三陸復興です。



2014年度の土壌肥沃度回復のための鋤きこみ用牧草の選抜試験の畑

# 久慈エクステンションセンターだより

## ●共同研究機関・種市南漁協の直売イベント

現在、本学では種市南漁協とウニ漁業高度化を目指し共同研究を行っています。この他に、当センター開設の24年から同漁協が5月の大型連休と6月上旬の日曜日に開催するウニ等の水産物直売イベントをサポートするなど、研究以外においても協力関係を築いています。

特に最大の直売イベントである5月のウニ直売会（3・4日の2日間開催）は今年が第10回の節目となり、過去最多規模の来客で大盛況となりました。今年会場となる宿戸漁港の漁業関連施設の全工事が完了し設備が整いましたが、24・25年は損壊を免れた施設や建設途中の施設での開催であったため会場設営に何かと制約が生じていたことから、漁協・県と共に効率的な運営方法を検討してきました。

このような経緯から、6月中旬に開かれたイベントを総括する報告会に県や町と共に招かれ、これからも漁業者・消費者共に満足できる、より良い直売会としていくためにも、引き続きの協力と連携の必要性について述べさせて頂きました。

漁業者が自ら水産物を販売する直売会は、浜の活力と元気が溢れ



行列は販売開始前、最大約400名が列をなしました



5月4日は「北三陸食卓応援隊・タベルンジャー」のウニ・イエローとワカメ・グリーンが登場!

るイベントです。このように漁業者が大事に、そして頑張っている取り組みを本学及び当センターでは積極的に支援していきます。

## ●久慈市の花・ツツジと闘牛大会

久慈市の市の花は「ツツジ」で、5月中旬頃から徐々に市内各所で見かけることができます。最大の名所は山形町の平庭高原で、ツツジが見頃となる6月7～15日の間「平庭高原つつじまつり」が開催されました。最終日の15日は併せて、東北で唯一の闘牛大会（本年第1回のつつじ場所（全3回開催））が開催され、多数の観客が詰めかけました。

当日はさらに、30名以上の参加者それぞれが思い思いに北国の春を熱唱する「北国の春・全国大会」も開催され、昨年に続き歌手の千昌夫さんがゲストで招かれました。その後は千昌夫コンサートが行われ、イベントは熱狂のうちに終了しました。



久慈市役所庁舎敷地にあるツツジ



角を突き付け合う牛 写真提供：久慈市

今後、様々なプロジェクトが展開される中で、現場窓口としてサポートさせていただきます。

## 連絡先 久慈エクステンションセンター

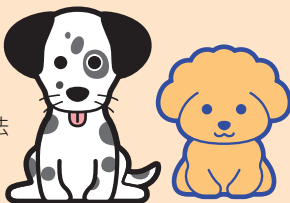
〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1番1号 久慈市役所（3階）産業開発課内  
TEL：090-2953-2519 E-mail：kujixt@iwate-u.ac.jp

## Information

### 岩手大学動物セミナー『犬との暮らし方』しつけ教室

岩手大学三陸復興推進機構生活支援部門被災動物支援班は、ドッグトレーナーによるしつけ方トレーニング講習を開催します。

今回は上級レベルとして、リードに頼らない指示方法や、非常ににぎやかな場所での集中、ボールに対する興味の持たせ方などについて講習を行います。



日時：8月23日（土）10：00～12：00

会場：大船渡市権現堂橋下河川敷

講師：吉田美樹子さん（ヨシダドッグスクール ドッグトレーナー）

梶山 永江さん（あそぼう♡タロちゃん ドッグトレーナー）

共催：岩手県大船渡保健所

お申し込み先

大船渡保健所

☎0192-27-9913

お問い合わせ

岩手大学三陸復興推進機構 大澤 090-6250-4251